

来賓の皆様方

本日は日本の中医薬連合会成立の喜ばしい日です。この場をお借りして私が代表を務める世界中医薬学会連合会及び中国中医薬国際合作センターより日本の中医薬学会連合会の成立をお祝いします。

皆様ご存知の通り、世界中医薬学会連合会は総本部が中国にあり、世界各国の中医薬界の国際学術組織を代表しています。現在までのところ世界 5 大州、50 以上の国家、166 の会員組織が入会しています。世界中医薬学会連合会の目標は中医薬の国際化を進め、中医薬を世界各国の保健システムに浸透させることによって人々の健康に更に貢献することです。世界中医薬学会連合会の現在の主な仕事は研究、国際組織標準を制定公布し、押し広めることです。これらの国際標準を通じ、中医薬が各国健康の発展に貢献することを保証します。

第一の基礎の標準は“ 中医薬基本名詞述語中英対照 ”であり、すでに 6 5 0 0 の標準項目が完成し批准段階にあり、近々公布されます。

中医薬人材の国際標準をまさに試行しており、メカニズムの標準化、質量管理システムの標準化、中薬製品の標準化も研究と理論の証明を行っているところです。

中医薬の信頼できる治療効果は各国会員の努力のもとで国際標準作成を推し進めることにより、必ず各国で迅速に発展すると信じています。

中日両国は一衣帯水の隣国同士であり、中医薬学は東方文化と哲学を基礎としています。中医薬学は中国を源としていますが、日本の伝統医学の発展にも重要な影響を發揮しています。中医薬を源とする漢方医薬や針灸は日本の人々に好み受け入れられており、今なお日本の人々の健康に重要な役割をはたしています。

両国中医薬界の医学交流も長い歴史があります。ここ数年中医の改革開放によって中医薬は世界に向かって大きく発展してきました。中医薬は欧州、アメリカ、オーストラリア等先進国において迅速に発展してきました。それらの国家に比べると日本における中医学の発展は明らかにおとっているといわざるを得ません。このような情勢のもと日本の中医薬連合会が成立したことは必ず日本における中医薬の発展の大きな力になることでしょう。

董巍先生は中医学を専門に学ばれ、日本の人々の健康のため中医学の発展を願っている方です。董巍先生は長年にわたり中日中医薬の医学交流に勤勉に取り組み、非常に大きな成果をあげられ、世界中医薬学会連合会と良好な関係を保たれています。

彼の目標は世界中医薬学会連合会の主旨と一致しており、世界中医薬学会連合会と中国中医薬国際合作センターは董巍先生が行われている中医薬発展のための仕事を支持します。私たちは董巍先生が会長をなさっている日本の学会が必ず日本における中医薬の発展に新たに貢献できることを確信しています。ありがとうございました。

世界中医薬学会連合会 李振吉